

平成25年度 第2回 地域公共交通会議議事録

日時：平成26年2月27日（木） 午後1時30分～

場所：有田市役所4階 市長応接会議室

- (出席委員) 成川満、杉本昌弘、鈴木孝志（代理：葛城）、脇村忠次、島崎正次、玉置春樹、高垣太郎（代理：上平）、西村芳通、田村政博、山田裕二、野村郁二、乾 弘（代理：島津）
- (欠席委員) 谷口潤、北村修、森下清司
- (出席事務局職員) 吉田市長公室長、河野経営企画課長、竹中まちづくり係長

1. 開会（事務局）

ただいまより、平成25年度第2回有田市地域公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日は過半数以上の委員さんにご出席いただいておりますので、本会議設置要綱第5条第2項により本会が成立いたしましたことをご報告いたします。

それでは、まず始めに成川会長よりご挨拶よろしくお願ひいたします。

2. 会長挨拶

どうも皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、またお足元の悪い中、有田市地域公共交通会議にご出席いただきましてありがとうございます。有田市デマンドバスの運行につきましては、委員の皆様方には色々ご協議、ご検討いただきまして、地域の公共交通として重要な役割を果たしているところでございます。年度末も近づいて参りまして、本日は平成26年度事業計画（案）及び予算（案）も含め、今後の当会議の運営や地域公共交通機関のあり方などについて、活発にご協議していただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

3. 委員変更報告（事務局）

ありがとうございます。

（平成26年2月21日付け有田警察署長の人事異動に伴う委員の変更及び新委員の紹介）

それでは早速ですが、本会議設置要綱第5条の規定により、議事に移らせていただきます。成川議長よろしくお願ひします。

4. 議事

（成川議長）

それでは、議事に移らせていただきます。

本日の議事は、議案4件、報告事項1件の計5件です。議案第3号と議案第4号については、一括議題とさせていただきます。

それでは、議案第3号「平成26年度事業計画（案）の承認について」、議案第4号「平成26年度予算（案）の承認について」を一括して、事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

まず始めに「地域公共交通確保維持改善事業」についてご説明いたします。

この事業につきましては、平成20年度から22年度まで活用してございました地域公共交通活性化・再生総合事業が廃止となった代替の事業で、平成23年4月1日より施行された事業です。市町村主催協議会が地域内フィーダー路線確保維持計画を提出し国の承認を得ることで、運行に係る経費を対象に一定の補助を継続的に行うといったものです。

協議会で計画を策定し国の承認を得た後は、事業の実施から実績報告、補助金の受取を運行事業者が行うという流れになっています。

有田市デマンドバスにつきましても、補助対象要件を満たし、平成23年度から補助対象事業として運行しており、平成26年度事業につきましても平成25年9月26日付けで生活交通ネットワーク計画を認定いただき、申請通りの補助額13,149千円の内定をいただいております。

以上の内容をうけて議案第3号の説明に移ります。

議案第3号「平成26年度事業計画(案)の承認について」ですが、今年度と同様に継続してバスの運行を行うとともに、時刻表の作成配布等利用促進のための取り組みを行います。

先ほど説明させていただいた地域公共交通確保維持改善事業の実施については、運行に関する実施主体は運行事業者となり、ルート・ダイヤ・運賃等の検討及び周知広報等については、運行事業者と地域公共交通会議が協力して実施することになります。

続きまして議案第4号「平成26年度予算(案)の承認について」を説明いたします。まず、歳入の部ですが、負担金として有田市からの負担金65,000円、雑入として広告料収入等で450,000円、歳入合計は515,000円です。雑入につきましては、広告料をいただいております旅館が1軒、昨年廃業されましたので、その分前年度比15,000円の減額となっております。

歳出の部ですが、運営費として会議費63,000円と事務費2,000円、合計65,000円を計上しています。それから、負担金として運行事業者への負担金450,000円ですが、これは広告料収入を公共交通会議で受けて、事業者へ支出するという事です。歳出合計は515,000円となり、歳入、歳出同額としております。以上です。

(成川議長)

先ほど事務局から13,149千円の補助金が内定したという説明がありましたが、これは事業者の中紀バスさんに運行経費が直接入るということですので、それ以外の経費、この会議の運営経費がここに計上されている予算ということになります。事業計画(案)、予算(案)の説明がありましたので、何かご意見、ご質問等はございませんか。

(杉本委員)

今ご説明いただいた国庫補助金についてですが、ここの協議会で承認を得て、会長名で申請いただいた計画に基づきまして、中紀バスさんに対して平成25年10月から平成26年9月までの分を内定したということになっております。内定の意味を説明しますと、平成26年度予算分の整理ということになっていまして、あらかじめ平成25年10月からの運行分を平成26年度予算から充当しますということで、実際に支払われる段につきましては、来年度予算の執行ということになります。ちなみに前の年、平成24年10月から平成25年9月までの分につきましては、秋ぐらいに中紀バスさんから交付申請をいただきまして、ちょうど昨日付けで申請通りに交付決定されたところです。中紀バスさんには年度末ぐらいに補助金が振り込まれる予定で、1500万円ちょっとぐらいです。補助金自体は、運行回数や運行距離、人件費など中紀バスさんの経営状況を踏まえた計算で出した答えと、別途で地域上限額が決められておまして、比較してどちらか低い方となります。今のところその計算通りに補助額を決めていっております。ただ、国の予算は地域公共交通確保維持の関係で、全国で300億円ぐらい

の予算ですけれども、例年ベースで同額程度と決まっております。この補助制度を使っている所が増えてきているものですから、先行きは補助金額が先細っていくということを否定できないというのが正直なところです。今のところは申請通りに交付決定させてもらっていますが、今後はそういうケースもあり得るということをおわかっていただきたいと思います。

(成川議長)

ありがとうございます。他にございませんか。

特に無いようでしたら、議案第3号及び議案第4号については、原案のとおり承認することにご異議はございませんでしょうか。

(異議なし)

(成川議長)

それでは、議案第3号「平成26年度事業計画(案)の承認について」、議案第4号「平成26年度予算(案)の承認について」は原案のとおり承認されました。

続きまして、議案第5号「ダイヤ・ルート改正(案)について」を説明願います。

(事務局)

議案第5号「ダイヤ・ルート改正(案)について」ですが、資料として時刻表(案)とルート路線図(案)をつけさせていただいています。平成23年5月に現在のダイヤに改正してから、3年近く経過していますので、今年の5月からの予定でダイヤ改正を行いたいと考えています。ダイヤ・ルート改正案では、新たに停留所を糸我の地藏堂(デマンド)、初島のABC公園前の2カ所を増やしています。それから、現在はAコースがA-1からA-4まで、BコースがB-1からB-4までの8系統ですが、今回Aコース、Bコースともに3系統ずつの合計6系統となっております。詳細については、運行事業者の中紀バスさんから説明していただきたいと思っております。中紀バスさん、よろしくお願いいたします。

(高垣委員代理)

中紀バスです。いつもお世話になり、ありがとうございます。今回の時刻表ですが、現在バス2台で運行している関係で、今の時刻表は複雑になっています。利用者の利用頻度によって、多い所と少ない所を分けて運行しているんですけど、今のダイヤが難しく、よくわからないというお客さんの声もよくいただいております。それで今回はそれ以前の時刻表をベースに作成しておりまして、利用者が多い地区、時間帯を毎日集計していますので、それを鑑みて、今回のダイヤを組ませていただきました。ご覧いただいたらわかるんですが、時間帯によっては、利用者の少ないところは走らなくて、違うところに戻って走るというような形になっています。基本的にAコース、Bコースともに同じ所を行ったり来たりするようになっていますので、利用者の方にもわかりやすいと思っております。箕島駅で乗り換えができるように時間調整はしています。各地区から乗ってこられるお客さんは、ほとんど市役所周辺で降りられますが、たまに他の地区に行きたいという方がおられますので、そういう場合は箕島駅で乗り換えてもらえば、他の地区へも行けるということになっています。私からは以上です。

(成川議長)

ありがとうございます。

議案第5号の説明が終わりましたので、ご意見、ご質問をお願いします。

(成川議長)

今回の時刻表は、利用者にわかりやすくなったということによろしいでしょうか。

(高垣委員代理)

デマンドバスが始まって、今のダイヤに変わるまでは、こういう形になっていました。今のダイヤは一目でわかるようになっていませんので、例えば、矢櫃地区から乗って箕島駅で降りる時刻、箕島駅から矢櫃地区に帰る時刻というのは、一目でわかるように作られているんですが、矢櫃地区から保田地区に行きたいというような場合は、その時刻表では見にくい、わかりにくいというような声が結構あります。今の時刻表はあまり全体の動きを示していなくて、各地区での行ったり来たりを時刻表として表しています。今回の場合は、全体の動きもわかりますし、どういう風に走っているのかわかると思えます。徐々に利用者数も年々減っていますが、今のダイヤに変えた時にも減ったということもありまして、元に戻すような形で、今までの利用実績を考えて修正を加えて作成させていただきました。

(成川議長)

ルートは一緒なんですよ。

(高垣委員代理)

そうですね。基本的に走る所が大きく変わるということはありません。先ほど説明ありましたが、要望のあった地蔵堂と初島のABC公園前は加えさせていただいています。

(成川議長)

停留所が増えたのは、2カ所ですか。

(高垣委員代理)

そうですね。元々初島のABC公園は以前はあったんですが、利用者が少なかったので止まらなくなりました。お客様からまた止まってほしいという声が出ていますので、復活させようということで、また止まるようにさせていただいています。

(成川議長)

以前からそういうご要望はあったんですね。

(高垣委員代理)

はい、ありました。糸我の地蔵堂と初島のABC公園前、それと、初島地区からオークワの開店前の時間でも回ってほしいという要望もありましたので、それらすべて対応できていると思っています。

(成川議長)

利用者にとってできるだけ見やすい時刻表を作成していただきたい。それと、時刻表通りに運行できるように取り組まれていますか。

(高垣委員代理)

時間については余裕を持たせています。以前はできるだけ多く走りたいということでタイトな時間設定をしていました。そのため、お客さんを待たせてしまうという時間帯ができて、ご迷

惑をおかけしたこともありました。逆に運行回数が減ってしまうということもありますが、時間的にゆとりを持って、早く着くことはあっても遅れることはないようにしています。

(脇村委員)

箕島駅からオークワ前を通らずに、直接市立病院へ行くことはないですか。

(高垣委員代理)

箕島駅から必ずオークワ前を通して、市立病院へ行くようにしています。

(脇村委員)

それなら良いんですが、以前そういう声がありましたので。

(高垣委員代理)

はい、そういう声に対応しています。

(山田委員)

2台のバスですが、Aコース、Bコースというように表示はされているのですか。
全然知らない人が箕島駅から乗る場合、どこに行くかわかるようになっていますか。

(高垣委員代理)

そういう表示はしていないですが、バスの前方にどの方面行きというのは表示しています。

(山田委員)

J Rとの接続はどうなっていますか。

(高垣委員代理)

必ずしも全部が全部とはいきませんが、朝の通勤時間帯などはできるだけJ Rの時刻表も見ながら作成しています。

(杉本委員)

確認ですが、運行回数は現行から変わりますか。

(高垣委員代理)

運行回数はほとんど変わらないです。ただ、今走っているダイヤというのが今回とは全然違うダイヤを組んでまして、Aコース4系統、Bコース4系統ということで1系統ずつ多いので、単純比較はできないんですが。

(杉本委員)

補助金の関係で、途中で計画が変わるということは変更申請が必要になります。6系統に変わるというのであれば、今8系統で計算していますので、その再整理が要るのと、運行回数が変わるのか変わらないのか見比べないといけないのと、あと距離も変わるのか、その辺を整理し直して、変更申請をお忘れなくしていただきたい。

(高垣委員代理)

以前も5月にダイヤ改正を行っており、その際にも手続きは行っておりますので大丈夫です。

(杉本委員)

変更認定申請の提出については、中紀バスさんではなく、この会長名で出させていただきますので、この協議会で合意を取って出していただくこととなりますので、よろしくお願いします。

(事務局)

中紀バスさんから説明がありましたが、一点補足説明をさせていただきますと、今まではどこの停留所で乗っても一回で行きたいところへ行けたのですが、今度からは箕島駅を拠点として、乗り換えていただく場合が出てくることとなります。ただ、コース自体は停留所が増えるだけで変わらないですし、一日の走行距離もあまり変更ないと思います。以上です。

(成川議長)

乗り換えると言えば、不便な気がしますが。

(事務局)

例を挙げれば、市北東部の宮原町から市南西部の宮崎町へ行くとすれば、コースが違ってくるので、乗り換えが必要です。ただ、拠点となる箕島駅でどのコースも交わるというルートになっています。

(成川議長)

あまり乗ったことがない、慣れていないような人に乗り換えの案内をフォローするような方法はあるんですか。

(事務局)

先ほどの説明にもあったように、乗降客の動向は毎日調査して、把握しています。箕島駅、オークワ、市立病院の3カ所を中心に動いているというのがわかっています。

ただ、やっぱり乗り換えなければならぬケースもあると思いますので、ダイヤ改正した際には、上手に周知をする必要はあると思います。

(成川議長)

他に何かご意見はございませんか。

それでは議案第5号「ダイヤ・ルート改正(案)について」は、原案のとおり承認することにご異議はございませんでしょうか。

(異議なし)

ご異議がないようですので、議案第5号は原案のとおり承認されました。

(事務局)

ただいまダイヤ・ルート改正案をご承認いただきましたので、これから手続きを進めていくわけですが、補助金の関係の変更申請と道路運送法上の手続きも要するというので、手続きの期間には約2ヶ月ぐらいかかります。ということで、早くても5月ぐらいいになりますので、5月1日からのダイヤ改正を予定しております。先ほど運輸支局の杉本委員さんからも説明がありましたように、補助金の関係で地域内フィーダー系統確保維持計画の変更認定申請には、この地域公共交通会議の承認が必要となりますので、委員の皆様方にはその節はよろしくお願い

いたします。

(成川議長)

続きまして、議案第6号「消費増税における運賃の取扱いについて」を説明願います。

(事務局)

消費税につきましては、皆様ご承知の通り、この4月1日から税率が5%から8%に引き上げられることになっています。新聞などでは、交通事業者が増税分を運賃に転嫁するため、運輸局に運賃値上げの申請をしているというような報道もされているところです。有田市デマンドバスの運賃は、中学生以上の大人で200円、小学生及び障害者の方で100円となっています。増税分をそのまま転嫁するとなると、大人で約6円、小人で約3円の値上げとなります。実際に値上げするとなると、それぞれ10円の値上げになるかと思いますが、現在の切りの良い運賃が利用者の方には定着しております。210円あるいは110円に値上げすることにより、運賃の支払いやお釣りの関係で、利用客、運行事業者ともに面倒な部分も出てきます。今回は利用者の方の利便性を優先して、値上げはしない方向で考えております。ただ、運行事業者の納税負担が増えるだけではなく、当然燃料費などの経費も増加してくるということになりますので、運行事業の収支につきまして、消費増税分の不足が発生する可能性もございます。その場合は運行事業者の負担とする訳にはいきませんので、市が負担をしなければならないということになります。運賃についても、この場で協議するというということになりますので、ご協議の方よろしくお願います。

(成川議長)

運賃は値上げをしないという議案でいいですね。ご意見等ございませんか。

(成川議長)

これはやってみないとわからないですね。できるだけ中紀バスさんには頑張ってもらって。それでは、消費増税による値上げはしないということでもよろしいですか。

(異議なし)

それでは議案第6号については、運賃は現行維持ということで承認されたということで、よろしくお願います。

続きまして、報告事項2「平成25年度利用状況について」を説明願います。

(事務局)

それでは、報告事項2「平成25年度利用状況について」という資料をご覧ください。

まず、はじめに平成21年9月から平成26年1月までのデマンドバス利用実績の表とグラフになっております。平成23年5月から日曜・祝日を運休としたために、そこで月間利用者数が大きく減少しています。その後も夏場は利用者が増える傾向ですが、全体的には減少傾向にあります。その後ろにAルート・Bルートの各利用状況の資料を付けております。

次に、平成25年4月から平成26年1月までの停留所別の乗降者人数です。乗車の多いバス停は、オークワ前・市立病院・矢櫃・箕島駅などで、少ないバス停は、山地・ありだ共撰・体育センター前・箕島公民館・水道事務所・下中島(デマンド)・高田などです。降車の多いバス停は、乗車と同じくオークワ前・市立病院・箕島駅・矢櫃などで、少ないバス停は、山地・ありだ共撰・体育センター前・水道事務所などです。各停留所における乗降客数の傾向という

のは、例年とあまり変わらない状況です。簡単ではございますが、以上です。

(成川議長)

この件について、ご質問、ご意見等よろしくをお願いします。

(成川議長)

少しずつ乗降客数が減少していってますね。

(事務局)

はい、毎年1割前後ずつ減っています。24年度は年間2万人弱、今年度は1月までの時点で15,000人余りですので、25年度としては18,000人前後になると思います。2月・3月の時期は毎年乗降客数が少ないので、そういう見通しになると思っています。

(成川議長)

もっと利用してもらえるように、継続してデマンドバスのPRとかはしないのですか。

(事務局)

市のホームページで時刻表等を見れるようにしています。それと、定期的に広報ありだへ利用促進の記事を掲載しています。また、有田警察署さんにもご協力いただきまして、運転免許証の返納証明を持った方への割引制度も導入しています。デマンドバスの利用者は、やはり高齢者の方が対象となってくると思いますので、そういう制度もPRしながら、利用促進の啓発を行っているというのが現状です。

(成川議長)

ずっと継続してPRして、周知していくのが大事ですので、よろしくをお願いします。
中紀バスさんはどうですか。

(高垣委員代理)

勿論うちもホームページに載せています。ただ、乗り合いバスに乗ってもらうというのは、なかなか難しく、年々利用客が減少しているのが現状です。

(成川議長)

会議の冒頭に広告料をもらっている所が1軒減ったという説明がありましたが、広告を出してくれる所を増やせないのですか。

(事務局)

有料広告については、中紀バスさんに営業努力で取ってきてくださいということをお願いしていますので、中紀バスさんの方で今回やめられた所に代わる所を探す努力をお願いしたいと思っています。この分については、中紀バスさんが各事業所を当たっていただいて、バス停の広告と車内広告の2種類ありますが、それはお願いしております。それと、利用促進については、来年度に利用客の意向を調査するために、車内でアンケートを実施できないか、事務局と運行事業者で協議をしております。それと、その機会に交通安全啓発を警察署さんにもご協力いただいて実施できるのではないかと、何かニュースで取り上げられるようなことも行う必要があるのではないかと考えております。その節は、警察署さんにもご協力をお願いします。

(乾委員代理)

こちらこそ、よろしく申し上げます。

(成川議長)

他にございませんか。

(高垣委員代理)

本来であれば、この場にうちの社長が出席して、お話をさせていただくべきなのですが、都合がつかなくて、私が代理で越させていただきました。先日、社長と私で市役所に越させていただいて、事務局の方とデマンドバスのことについて話をさせていただきました。その中で、社長も重々話していたんですが、大手旅行会社のパンフレットにツアーを載せてもらって、大阪方面から有田地方へお客さんを連れて来ようと、それによって地域経済が発展できればなあというような話をさせていただきました。その中で、県外から来られたお客さんもデマンドバスを利用して、有田市内を移動していただきたいというようなことも考えています。箕島漁港の見学とかみかん狩りの体験ができるツアーを組んだところ、弊社が賞をいただきましたので、それを大手のパンフレットに載せていただいて、お客さんに来てもらおうという取り組みをしています。デマンドバスがそれにどれだけ絡めるのかというのもあるんですが、そういうことも色々画策しながら、この周辺一帯へのお客さんの誘客にも手は打っているということを皆様にお伝えするように社長から言われていますので、ご報告させていただきます。

(成川議長)

どんどん県外から誘客できるように、よろしく申し上げます。

利用状況については、よろしいでしょうか。

それでは、その他について、事務局から何かありますか。

(事務局)

先ほども申し上げましたが、今でも市民の皆様からご要望やご意見を戴いておりますが、もっと利用者の方の声をお聞きしたいということで、中紀バスさんにご協力をいただいて、お客さんへのアンケートを実施したいと考えています。その結果を参考にして、今後のダイヤやルートの改正に反映させたいと思っております。今回5月にダイヤ改正をしますので、一旦ダイヤ改正をした後に、今回のダイヤ改正へのご意見とか、停留所の場所やルートの回り方について、アンケートを取っていきたいと思います。方法については、車内でアンケート用紙を配っていただいて、回収については、次回の乗車の際や、後日市役所あるいは中紀バスさんの営業所に直接届けていただくような形をとれないか考えているところです。以上です。

(成川議長)

利用されている方へのアンケートというか、ご要望をお聞きするというのとは一番大事なことなので、効果的にひとつよろしく申し上げます。

議案、報告事項はすべて終了しましたが、せっかくの機会ですので、他にご意見等ございませんか。

それでは無いようですので、第2回有田市地域公共交通会議を終了させていただきます。本会の進行にご協力いただき、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

5. 閉会